

(ビジョン・ドゥ・リール2015 審査員特別賞) (ロカルノ国際映画祭2015) (モンリオール世界映画祭2015)
(グアダラハラ国際映画祭2016) (シアトル国際映画祭2016) (ダンス・オン・カメラ2016)

ホライズン

HORIZONTES

盲目のプリマ、アリシア・アロンソを知っていますか？

オールド・ハバナ — キューバが世界に誇るバレエがそこにある

監督 アイリーン・ホーファー

出演 アリシア・アロンソ、ヴィエングセイ・バルデス、アマンダ・ベレス、ほか
キューバ国立バレエ団、フェルナンド・アロンソ国立バレエ学校

2015/スイス、キューバ/スペイン語/71分/16:9/©INTERMEZZO FILMS 2015

配給・宣伝:T&Kテレフィルム 後援:駐日キューバ共和国大使館、日本キューバ友好協会 協力:DBI、楽画会

キューバ国立バレエ団の伝説的な盲目のプリマ、アリシア・アロンソ。
90歳を超えた今もなお情熱を燃やし続ける彼女と、
教え子たちの“今”を捉えた、詩情あふれるドキュメンタリー。
バレエ版「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」!

オールド・ハバナ、国立劇場に程近いキューバ国立バレエ団の飾り気のないリハーサル室で、プリマ・バレリーナのヴィエングセイは厳しく妥協のない練習に没頭する。バレエ学校の生徒で、国立バレエ団への入団を夢見る14歳のアマンダもまた同じだ。彼女たちがそのステップの一つ一つで追い求める理想は—アリシア・アロンソ。視力を失いながらも踊り続け、バレエ界で最高位の“プリマ・バレリーナ・アッソルレータ”の称号を得た伝説のバレリーナ。90歳を過ぎた今も国立バレエ団の芸術監督として情熱的に指導を続ける、彼らの偉大な先輩だ。オールド・ハバナのノスタルジックな街並みを背景に、異なる世代の三人のダンサーにカメラは寄り添い、詩情あふれる静謐な映像でそれぞれの内面を映し出す。衣装係やトレーナー、トゥシューズのフィッターなど、舞台を陰で支えるスタッフとの心温まるシーンを交えながら、困難を乗り越えて挑戦を続け、キューバを象徴する存在となった一人の女性の驚くべき人生を貴重な記録映像を交えて辿り、彼女が地平を押し広げ、類い稀な発展を遂げたキューバのバレエの“今”を捉える。

監督はキューバの文化に深い造詣と共感を持つ、スイスの女性監督アイリーン・ホーファー。本作は二作目の長編で、ドキュメンタリー映画の俊英として世界中の映画祭で注目を集めている。

キューバの誇り、アリシア・アロンソと国立バレエ団

アリシア・アロンソ(1921~)は、20世紀のバレエにおいて最も偉大な人物の一人。ハバナに生まれ、アメリカに渡りアメリカン・バレエ・シアターで活躍。21歳の頃から徐々に視力を失い始めた彼女は、手術を繰り返して失明に近い状態となっても踊り続け、1952年にはピエリーナ・レニャーニ、ガリーナ・ウラノワといった伝説的なバレリーナに並ぶ五人目の(その後現在に至るまでマイヤ・プリセツカヤ、マーゴ・フォンテインなど数人にしか授与されていない)、最高位のバレリーナに与えられる“プリマ・バレリーナ・アッソルレータ”の称号を得た。1948年にキューバに戻って創設したアリシア・アロンソ・バレエ団は、キューバ国立バレエ団の前身となり、お互いが良好理解者であるカストロ兄弟とアリシアは、バレエをキューバ革命の文化の礎と位置付けて発展に力を尽し、白人の上流階級のものであったバレエの門戸を広く開放する変革に成功した。現在のキューバでは、アリシア・アロンソと、世界的なダンサーを次々と輩出するそのバレエ団は、誰もが知る国民の誇りである。

アリシアは94歳を超えた現在も芸術監督を務め、2016年春、米・キューバ間の歴史的な雪解けとなったオバマ大統領のキューバ訪問の際も、自らの名前が冠された国立アリシア・アロンソ劇場(旧称ガルシア・ロルカ劇場)で、ラウル・カストロと共にオバマ氏を迎えたことは記憶に新しい。

『ホライズン』(原題“Horizontes”)

監督:アイリーン・ホーファー 撮影:グレゴリー・ビンドシエドラ 助監督:エレナ・ロベス・リエラ

出演:アリシア・アロンソ、ヴィエングセイ・バルデス、アマンダ・デ・ヘスス・ベレス・ドウアルテ ほか

キューバ国立バレエ団 フェルナンド・アロンソ国立バレエ学校

主題歌:「With My Heart」ハイジ・ハッピー

2015/スイス、キューバ/スペイン語/71分/16:9/©INTERMEZZO FILMS 2015

配給・宣伝:T&Kテレフィルム 後援:駐日キューバ共和国大使館、日本キューバ友好協会 協力:DBI、楽画会

2016

11/12(土)より
ロードショー 順次全国公開
前売鑑賞券 1,500円(税込) 発売中!

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
03-3280-0099 毎月曜日と
11/23は
www.topmuseum.jp 休映

伊勢丹本館向かい・明治通り側
角川シネマ新宿
03-5361-7878
www.kadokawa-cinema.jp